

枚方市と自治労枚方市職員関係労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和8年(2026年)3月13日(金)午後6時30分～午後7時30分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約15名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、教育政策課長、上下水道局総務課長、市立ひらかた病院総務課長、書記（人事課・職員課 課長代理）
4. 課 題 「2026年春闘要求書」に基づく交渉（2回目）

<交渉内容要旨>

I. 非正規職員の処遇について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計年度任用職員の給与制度については、国の助言に基づき制度設計されているが、制度開始から6年が経過し、指導的立場の職員の配置など、状況に変化が生じていることから、給与体系の抜本的な見直しを行う時期に来ていると考えるが、見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度導入後、総務省からの助言を踏まえつつ、貴組合の意見も聴きながら適宜対応してきたところであり、今後も他市の状況等を踏まえ対応していく。

II. 総合評価制度について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計年度任用職員のうち監督的な職種については、その職務に見合った評価項目の設定が必要であり、早期に対応しなければ職員の意欲低下につながるおそれがあると考えますが、対応できるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の職種や職場のみが使用する評価シートを作成することは困難であり、まずは現場の声を踏まえ現状把握に努める。

III. 窓口職場における業務の準備について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口職場においては、業務開始前から準備を行うなど、恒常的にサービス残業的な状況が生じている。窓口時間の短縮を行っている自治体もあることから、窓口時間の見直しや手当の支給など、必要な対応を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口時間を短縮することは、適正な労務管理に寄与することが想定されるものの、市民サービスの後退につながる側面もあることから、慎重に検討していく必要があると考えている。

IV. 障害者雇用について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 視覚障害者の採用が進まなければ技術の継承が困難となることから、採用の促進が必要と考えるが、採用が進んでいない要因についてどのように認識しているのか、見解を聞く。	<ul style="list-style-type: none">・ 点字による対応や要配慮事項の聞き取りなど、障害のある方が受験しやすい環境整備に努めているところである。

V. 駐車場料等に係る通勤手当について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 令和8年度から新設される駐車場等に係る通勤手当については、令和7年の賃金確定交渉において国家公務員の取扱いに準じる予定との回答であったが、具体的な制度内容はどのようになるのか。・ カークラブ（市有地に職員の自家用車を駐車するための使用料を徴収する仕組み）については、支給の対象となるのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 人事院規則の改正案では、通勤手当受給者を対象に、自動車及びバイクは対象、自転車は対象外とし、月額5,000円を上限に支給する内容とされており、本市においてもこれに準じた取扱いとする予定である。・ 支給対象とする予定である。